

保育計画成果報告書

法人名等	株式会社 仙台進学プラザ
施設名	保育所型認定こども園 ふらざこども園 長町
報告者（役職）	佐藤 明美（副園長兼主幹）
住所・連絡先	宮城県仙台市太白区长町6丁目7-17
	☎ 022-304-5254 E-mail p-hoikuennagamachi@sendaishingakuplaza.com

○タイトル（保育計画）

絵本を楽しもう！ ～ワクワク！ドキドキ！の扉を開けよう～

○主な助成備品

絵本・紙芝居・大型絵本

1. 保育計画策定の目的

令和3年4月にふらざ保育園長町として開園し、令和5年4月から保育所型認定こども園に移行し保育をおこなっております。園児115名・職員34名のにぎやかで楽しいこども園です。2年前、保育園をスタートさせる際、生活・保育に必要な備品や遊具の購入の中でたくさんの絵本は購入できませんでした。今回、第一生命財団様の助成により、子どもたちのために！職員のために！たくさんの絵本を購入させていただきました。絵本だけでなく季節や行事、食育活動、防災関係の紙芝居、大型絵本など職員も選ぶのが楽しみになる本・紙芝居ばかりです。また、子どもたちも「今日はどんな絵本を読んでもらえるんだろう」と先生の読み聞かせの時間をワクワクしながら楽しみにしております。

2. 具体的な実施内容

園内に入るとエントランスが広がっています。そこの一角にかわいい本棚があります。初年度は数十冊の紙芝居が並んでいるだけでしたが、この度たくさんの絵本や紙芝居が仲間入りしました。職員が絵本や紙芝居を選びやすいようにシリーズごと、作者さんごとや季節や行事ごとに分けて収納しています。



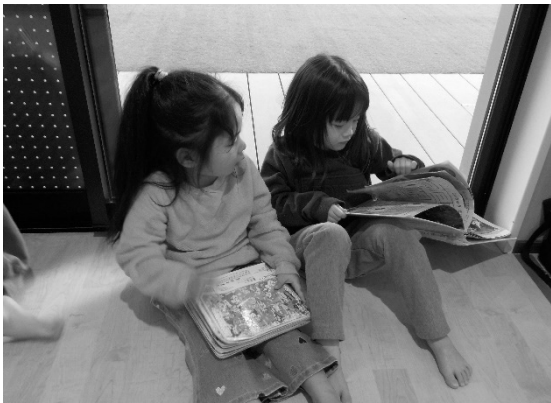


◎先生と一緒に



◎一人でじっくりと・・・(図鑑・昔話)





◎友達と一緒に楽しみながら・・・(3・4・5歳児：ミッケ・図鑑)



3. その成果と評価

絵本の読み聞かせによって、「想像力がつく」「語彙力が高まる」「集中力がつく」「感情が豊かになる」「好奇心を刺激する」「コミュニケーションで心が豊かに！」などの効果が期待できることから、月齢に合わせた絵本を選び、読み聞かせの時間を大切に考えています。また、絵本からイメージを広げてごっこ遊びや追いかけっこ、なりきり遊びなど子どもたちの表現する！という活動にもつながっていくのだと思います。

◎0歳児

先生と一緒に！膝の上に抱っこされながら、ゆったりとした雰囲気の中で楽しむ絵本。音のなる絵本や、指をつかってつまんだり、ひっぱったりを楽しむ仕掛け絵本。自分で本をめくりながら絵や色彩を楽しみます。



◎1歳児

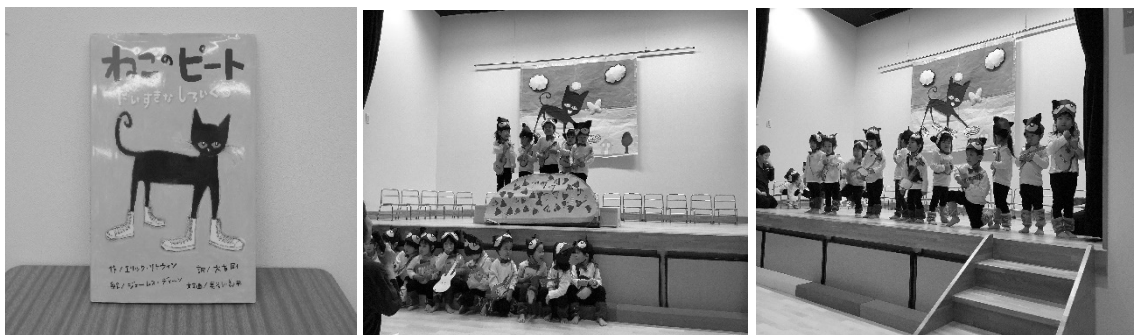
簡単な言葉のやり取りができるようになる1歳児クラスでは、繰り返し言葉の絵本やお歌の絵本、かわいい動物やキャラクターの絵本を楽しみます。先生の読んでくれる紙芝居を見ながら真剣な表情！！



保育の中での絵本の時間を大切にしながら子どもたちの絵本に対する興味や楽しむ姿をヒントに12月の行事「発表会」へ向けて題材を考えていきます。

◎ 2 歳児

好奇心が旺盛になってくる2歳児クラス。動物や虫、恐竜、野菜やお花の図鑑に興味深々です。担任が繰り返し読み聞かせしている絵本から、主人公と一緒に話ししたり歌を歌ったりを楽しむ「ねこのピート」を演じました。



◎ 3 歳児

発表会で「どうぞのいす」に取り組むこととなった3歳児クラス。どうぞのいすの読み聞かせを続け・・・最終兵器！！大型絵本を保育室へ持っていきました。子どもたちは大歓声をあげながら大きな絵本に夢中です。役決めの際にも動物さんのイメージがつきやすくなり、やってみたい！チャレンジしてみたい！という意欲につながりました。



◎ 4 歳児

「おおかみと7匹のこやぎ」を発表することとなった4歳児クラス。誰もが知っている物語ですが、おおかみさんとこやぎのやり取りを絵本を通して表現しました。おおかみさんの声色に変化をもたせたり、友達と息を合わせて次々に台詞を言う。それに合わせて動きをつける。ステージ発表の子どもたちは堂々としていました。



◎ 5 歳児

「ももたろう」を発表した 5 歳児クラス。

春から様々な昔話を読み聞かせしてもらい、その中からももたろうを選び発表しました。知っているお話、なじみのあるお話のため取り組みやすく、子どもたちからの意見を取り入れながら練習を進めていきました。



◎ 食育活動

4・5 歳児クラスでは、食育活動の中で絵本をヒントに・・・食品群について学ぶ機会を作りました



4. 今後の課題と展望

今後もたくさんの絵本を取り揃え、子どもたちにたくさんの絵本に触れて・見て・読んでもらいたいです。各保育室の本棚も充実させていくことで、絵本大好きな子どもたちが増えるといいなと思っています。最近では共働きのご家庭、テレビやユーチューブの視聴が増え、親子でゆっくりと絵本を楽しめる時間が減っていると感じています。読み聞かせはお父さんの力強い声・お母さんの優しい声で習慣化することにより、よりコミュニケーションが密になり、子どもたちの情緒の安定にもつながると考えます。親子で絵本を通して楽しい時間が増えることを発信していくことや各家庭への絵本貸し出し、地域の親子を招いての絵本の読み聞かせを実施して絵本のすばらしさを伝えていきたいと考えています。

以上